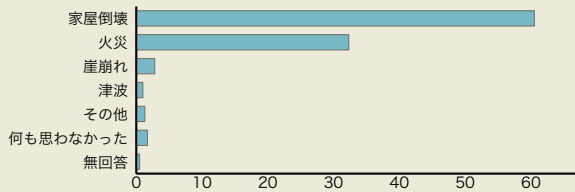


◆ 地震が発生した時に、最も危険と感じたことは、何ですか。(回答は一つだけ)

ほとんどの人が「家屋倒壊」または「火災」を最も危険と感じている。

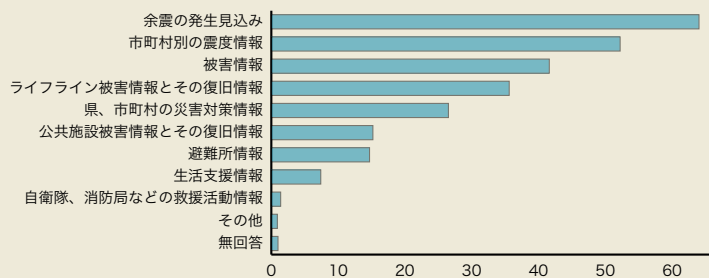


自由記載欄から抜粋

- ・避難場所へ行くまで、家々の建っている所を通り抜けるのに屋根瓦また、窓ガラスの飛び散る危険があった。
- ・隣の近くに原子力発電所があり、一番に異常がないかと不安になった。
- ・私は二階にいましたが階段の側まで行くのがやっとで、柱につかまっただまま身動きができませんでした。そして家がどちら側に倒れるかそればかり考えていました。
- ・会社事務所の揺れは大変すく事務所が倒壊しないかと一瞬の下に体を入れました。揺れがおさまりすぐ外に出ました。

◆ 地震発生後に、真っ先に知りたかった防災情報とは、何ですか。(回答は3つ以内)

半数以上の人が地震発生後、最初に必要とした情報として、「余震の発生見込み」、「市町村別の震度情報」をあげている。

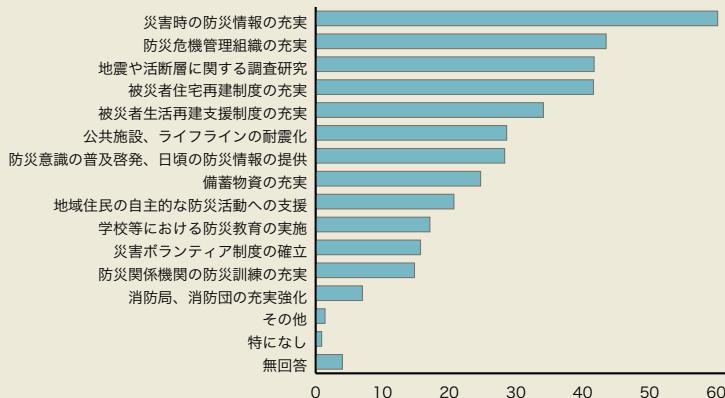


自由記載欄から抜粋

- ・地震発生の見込みをしてもらいたかった。余震の見込みもなかった。
- ・地域の情報提供や確認のルールやルート。
- ・地震や活断層に関する専門的な情報が欲しい。
- ・市町村別の震度情報の詳細を早々に知らせること。余震の発生見込みをもっと詳しく知らせること。(テレビ・ラジオを通じて)

◆ 今回の地震を契機に、県や市町村で早急に防災対策を強化すべきと考えることは、何ですか。(回答は5つ以内)

早急に強化すべき防災対策として、「災害時の防災情報の充実」が最も多く、次いで「防災危機管理組織の充実」「地震や活断層に関する調査研究」「被災者住宅再建制度の充実」「被災者生活再建支援制度の充実」などが続いている。



自由記載欄から抜粋

- ・1部落に1箇所くらい、赤電話を付けてもらいたい。
- ・市町村、広域行政の連携について改めて、地域住民によく分かる救済対策など考え直してほしい。
- ・県や市町村に防災の認識を再度検討してもらって、今の現状でなくもっと充実した防災計画やチェックリストの作成を早期にしてもらいたいと、器材の装備をお願いしたい。
- ・これを教訓に我が家でも対策を講じることはもちろん、地域(町内)でも情報交換や防災組織作りをし、助け合っていける町づくりが必要だと感じました。
- ・突然の災害の時、どこに避難すれば良いか分からないので、緊急の時のために地区の住民の人にどこへ逃げると良いかを指導しておいて欲しいと思いました。
- ・集落と町部との交通手段を早急に確保することが一番大切なことと痛感した。